

## 耳鼻咽喉科頭頸部外科（耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

### 1. 附属病院における担当診療科

(1) 耳鼻咽喉科頭頸部科

### 2. 受け入れの身分

(1) 医員

(2) 大学院生

鳥取大学大学院医学系研究科

(1) 医学専攻博士課程（感覚運動医学講座）（4年制\*）

①一般選抜

②社会人特別選抜（本院医員または一般病院に通勤しながら入学可能）

\*研究の内容によっては、3年生または3年生半で修了可能

(2) 機能再生医科学専攻後期博士課程：遺伝子再生医療学講座（3年制\*\*）

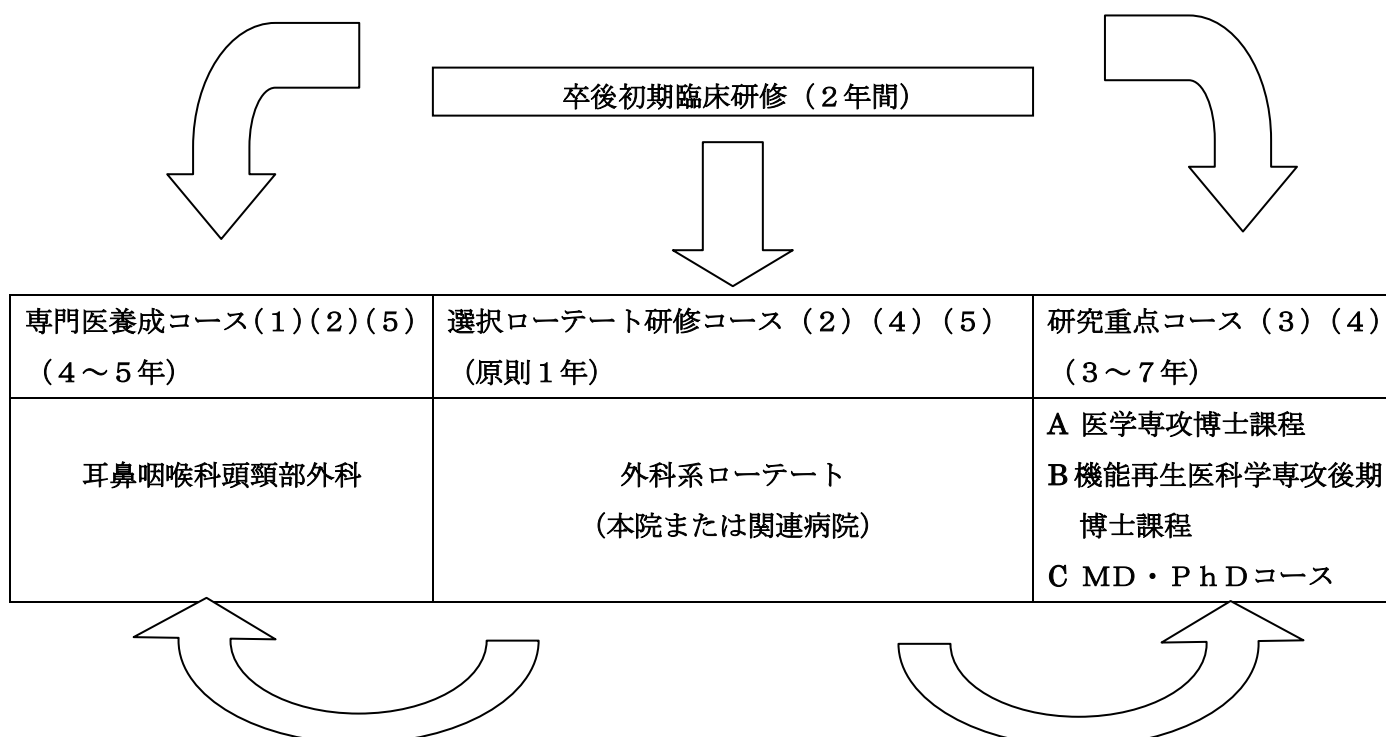
①再生医療学分野

②制御再建医学分野

\*\*研究の内容によっては、2年で修了可能

【\*\*\*の規定からMD・PhDコースを修了すれば医学博士の学位と再生医科学博士の2つの学位を5～7年で取得することができる】

### 3. 初期臨床研修修了後の選択可能なコース



- (1) 初期研修修了後、直ちに専門医養成コースの耳鼻咽喉科並びに頭頸部外科の専門医研修を開始できる。
- (2) 選択ローテート研修コースの外科系ローテート研修（1年）を経て、専門医養成コースの2年目に移行できる。
- (3) 初期研修終了後、直ちに研究重点コースのA・BまたはCに進むことができる。
- (4) 選択ローテート研修コースの外科系ローテート研修（1年）を経て、研究重点コースのA・B・Cいずれか2年目に進むことができる。
- (5) 専門医養成コースおよびに選択ローテート研修コースを選択したとしても、初期研修終了後直ちに大学院医学専攻博士課程に入学できる。

4. 専門医養成コース（選択ローテート研修コースを経る、経ないにかかわらず）を修了する。ことにより、医学博士の学位と下記の専門医受験資格を得ることができる。

P G	専門医養成コース		
7		←医学博士の学位	←各種専門医受験資格
6			
5			
4			
3			
2	卒後初期臨床研修（2年）		／は大学院在学中
1			

5. 耳鼻咽喉科頭頸部外科において取得可能な専門医

- (1) 日本耳鼻咽喉科学会専門医
- (2) 日本気管食道学会認定医
- (3) 日本アレルギー学会専門医

## 6. 各種認定医、専門医受験資格

認定医、専門医	認定耳鼻科医取得の要否	受験に必要な研修期間・基準	受験に必要な学会会員歴
日本耳鼻咽喉科専門医		日本耳鼻咽喉科学会が基準に基づいて認可した耳鼻咽喉科専門医研修施設において、研修カリキュラムに従い臨床研修終了後4年以上の専門領域研修（そのうち3年以上は耳鼻咽喉科専門医研修施設における研修でなければならない）を取得した者。	連続して3年以上日本耳鼻咽喉科学会の正会員であること。
日本アレルギー学会専門医		内科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科・その他の基盤学会の専門医資格の認定を受けていること。基盤学会認定資格取得後、内科は3年以上、小児科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科は1年以上、計6年の内、通算3年以上は日本アレルギー学会認定教育施設において、日本アレルギー学会指導医または専門医のもとの、所定のカリキュラムに従ったアレルギー学の臨床研修を必須とする。	連続して5年以上日本アレルギー学会の会員であること。
日本気管食道科学会専門医		日本気管食道科学会所定の*ガイドラインに従って、気管・食道領域の基礎科学または臨床について履修したもの。履修に当たっては各専門領域に即した項目を修得するものとする。	連続して5年以上日本気管食道学の会員であること。
日本睡眠学会認定医		臨床医として5年間以上の医療に関する実地経験を有すること。学会認定医のもと睡眠医療に関する2年間以上の臨床経験を有すること。日本睡眠学会および関連する国際的睡眠学会の定期学術集会に3回以上は参加していること。睡眠医療に関する学術論文3編以上（そのうち1編以上筆頭著者）を有すること。	日本睡眠学会の3年間以上の会員歴があること。

\* ガイドラインの詳細は別に記載する。

## 7. 診療分野並びに特徴のある診療内容

### A. 診療分野

#### 腫瘍

##### 1) 頭頸部腫瘍（頭頸部に発生する良性並びに悪性腫瘍）

取り扱う腫瘍としては唾液腺（耳下腺、顎下腺）腫瘍、鼻・副鼻腔腫瘍、口腔内腫瘍、咽頭腫瘍、喉頭腫瘍、頸部（甲状腺、他）腫瘍、など

#### 腫瘍以外

##### 1) 鼻・副鼻腔疾患

鼻アレルギー、慢性副鼻腔炎、など

##### 2) 中耳疾患

慢性中耳炎、真珠腫、滲出性中耳炎、など

##### 3) 内耳疾患

メニエール病、良性発作性頭位めまい、突発性難聴、など

##### 4) 顔面神経に関わる疾患

##### 5) 喉頭疾患

反回神経麻痺、声帯ポリープ、など

##### 6) 咽頭疾患

閉塞性睡眠時無呼吸症候群、嚥下障害、など

### B. 特徴ある診療内容

##### 1) 頭頸部腫瘍に対する先進的医療

内視鏡下頸部腫瘍摘出術（高度先進医療）、超選択的動注療法（高度先進医療申請中）、

##### 2) 内視鏡下鼻内手術

##### 3) 急速減感作療法

##### 4) 頭蓋底手術

##### 5) 人工内耳手術

##### 6) 鼓室形成術

##### 7) 音声外科手術

##### 8) 嚥下障害に対する外科的治療

##### 9) 睡眠時閉塞性無呼吸症候群に対する外科的治療

##### 10) 頭頸部癌に対する外来化学療法

##### 11) 遊離組織移植を用いた頭頸部癌再建

### 後期研修で獲得すべき基本的手技

##### 1) 最重要課題としては頭頸部外科医としての基本的手術手技の獲得と全身管理ができること

##### 2) 頭頸部腫瘍に対する診断（頸部超音波検査、造影検査などを用いて行う）

##### 3) 鼻副鼻腔疾患に対する画像診断

##### 4) 聴覚、平行機能検査を駆使しての診断・治療

##### 5) 嚥下障害の診断・治療・リハビリテーション

- 6) 睡眠時閉塞性無呼吸症候群に関する検査（PSG）ならびに診断ができる
- 7) 音声分析を用いた診断

## 8. 専門医研修施設

- (1) 鳥取大学医学部附属病院
- (2) 耳鼻咽喉科頭頸部外科関連施設

上記(1)(2)において、外科学全般にわたる研修ならびにそれぞれ希望する専門医研修を実施する。

## 9. 耳鼻咽喉科頭頸部外科教育関連病院

(※日本耳鼻咽喉科学会認定教育病院)

- 鳥取県立中央病院※
- 鳥取赤十字病院※
- 鳥取市立病院※
- 智頭病院
- 鳥取県立厚生病院
- 山陰労災病院
- 済生会境港総合病院
- 伯耆中央病院
- 日南病院
- 西伯病院
- 安来市立病院（島根県）
- 松江赤十字病院（島根県）
- 津山第一病院（岡山）
- 児島市民病院（岡山）
- 公立香住病院（兵庫県）
- 公立社総合病院（兵庫県）
- 公立八鹿病院（兵庫県）
- 京都医療センター（京都）
- 京都ルネス病院（京都）
- 日赤和歌山医療センター（和歌山）
- 岸和田徳洲会病院（大阪）
- 草津総合病院（滋賀）
- 野口病院（大分）
- 東京西徳洲会病院（東京）
  
- その他これまで専門医研修施設を依頼してきた病院
  - ・枚方市民病院（大阪）
  - ・倉敷中央病院（岡山）

○その他可能な施設

- ・名古屋がんセンター（愛知）
- ・九州がんセンター（福岡）
- ・国立がんセンター東病院（千葉）